

西宮市文化財保存活用地域計画 素案（概要版）

西宮市産業文化局文化スポーツ部文化財課



西宮神社表大門（国重要文化財）



西宮砲台（国史跡）

■にしのみやの歴史と文化の特徴

西宮市は、六甲山地をはさむ北側盆地（北部）と南側丘陵地・平野（南部）からなり、それぞれ自然環境に適応した多彩な産業や文化が発展してきました。海から山にかけて南北に長く延びる市域の形成史からは、旧町村ごとにまとまりが見られ、多彩な歴史、特色ある文化財が伝えられています。西宮市の文化財は、自然の推移や先人の営みを知る上で欠くことができないものであり、自然や文化の多様性を維持していく基礎となるものです。文化財は、市民個人、地域団体等の構成員としての誇りや地域への愛着をかたちづくる大切な市民共有の財産です。さらに、文化財は西宮市を訪れる人びとをひきつける魅力ある歴史資産でもあります。

文化財保護法（昭和 25 年）、兵庫県文化財保護条例（昭和 39 年）、西宮市文化財保護条例（昭和 48 年）などにより、市内の文化財の保護に取り組んできました。現在、国宝、国重要文化財、国登録、県指定、市指定あわせて、157 件の文化財が所在し、その他にも地域で大切に受けつがれた文化財が多数所在します。

■経過と作成の目的について

西宮市では平成 25 年から「西宮市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画（総合的な計画）」による文化財の保存活用を進めてきました。

平成 30 年に文化財保護法が改正され、各自治体がそれぞれの実情に合わせた文化財の保存活用に関する計画を策定し、文化庁長官が認定する「文化財保存活用地域計画」が位置付けられました。文化財の専門家だけでなく、多様な関係者が参画し、地域全体で文化財を次世代へ継承するための取り組みが求められているのです。

今回作成した「西宮市文化財保存活用地域計画」は、そのマスタープラン+アクションプランとなります。私たちは先人から受け継いできた歴史資産を確実に未来につなげていくための取り組みを進めていきます。

■西宮市の文化財 現状と課題

現状

- 未把握の文化財、価値の向上が必要な文化財、価値を維持する文化財に対する調査などが必要です。
- 文化財を保存するため、保存修理が必要な文化財が多数あります。
- 市内の文化財のわかりやすい情報が、市民の皆さんへ届いていません。
- 文化財を支える人が減少しています。

課題

- 文化財の調査を進める必要があります。
- 文化財の保存に努める必要があります。
- 文化財のわかりやすい情報を届ける必要があります。
- 文化財にかかわる人びとの育成が必要です。
- 博物館等施設や大学・関係団体との連携が必要です。
- 文化財を地域に生かす取組みを広げていく必要があります。

計画の目標

歴史資産を受けつぎ、いかし、未来へつなぐまち、にしのみや

■西宮市の文化財の保存活用に関する方針と取組み

方針1 しらべる 西宮の歴史資産を把握し、記録します

文化財台帳の整備は、阪神淡路大震災を経験した西宮市が「総合的な計画」に位置づけ、取り組んできたものです。文化財保存活用の基本情報である台帳整備には「しらべる（調査）」ことが必要です。調査により文化財を把握し、文化財台帳を充実させることで、西宮らしさを構成する歴史資産を明らかにし、保存活用に役立てます。

1. 文化財を積極的に把握します
2. 文化財緊急調査を実施します
3. 文化財の価値を高める詳細調査を実施します
4. 総合的に文化財を把握するための調査を推進します
5. 調査体制の充実をすすめます
6. 文化財の調査記録保存等に ICT 活用を推進します



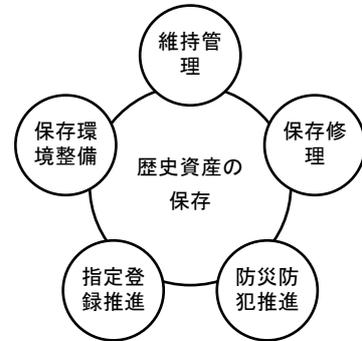
■おもな取組み

- 未調査・未把握（食文化など）の基礎調査の実施／埋蔵文化財等の緊急調査の実施
- 指定・登録候補文化財についての詳細調査の実施
- 分野別・地域別・テーマ別などの総合的な調査実施／調査への外部専門家の参画促進
- 文化財情報のデジタル化・データベース化の推進

方針2 まもる 歴史資産を受けつぎ、保存します

西宮の歴史資産を未来へつなぐため、「まもる」ことが大切です。所有者等と連携して保存管理に努め、適切に保存修理を進めていきます。また、災害発生時の対応力強化のため所有者や専門家等と協力し環境づくりを進めます。

1. 文化財の維持管理を進めます
2. 文化財を継承する環境づくりを進めます
3. 文化財の価値を維持するために保存修理を推進します
4. 文化財の指定・登録を推進します
5. 文化財の防災・防犯を推進します
6. 文化財の保存環境の整備を促進します



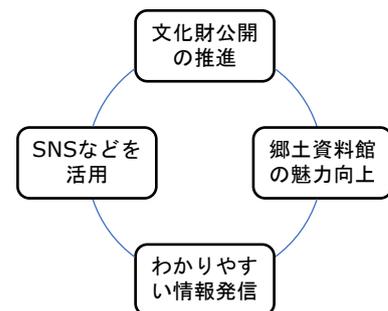
■おもな取組み

- 文化財の維持管理推進（所有者支援と行政・専門家等の連携の強化）
- 地域や団体で文化財を受け継ぐ機運の醸成
- 文化財の保存修理の実施・支援
- 文化財指定・登録の推進
- 文化財の防災・防犯への対応力強化（体制・防災設備等の整備）
- 埋蔵文化財の保管環境の整備／郷土資料館収蔵庫の機能拡充

方針3 いかす 歴史資産の活用を促進します

地域全体で歴史資産を受け継ぎ、未来へつなげていくには、多くの人に文化財を身近に感じてもらうことが必要です。文化財の公開による活用を進め、文化財との出会い、「わかりやすい」情報発信、郷土資料館や史跡等の活用等「いかす」取り組みを進めます。

1. 文化財にふれる機会を拡大します
2. 歴史資産情報を効果的に発信します
3. だれもが「わかりやすい」文化財情報の提供を進めます
4. 郷土資料館の歴史資産情報の発信拠点機能を充実します
5. 埋蔵文化財の保存活用環境の整備を推進します
6. 史跡等文化財の整備を促進します



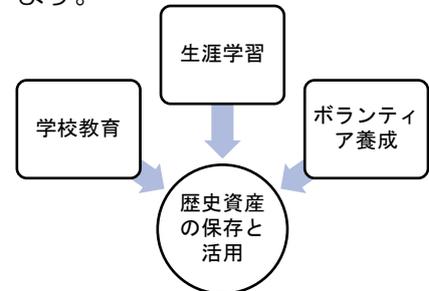
■おもな取組み

- 指定文化財公開の促進（展示・現地公開）／文化財ウォーク等の実施
- にのみやデジタルアーカイブでの公開推進
- 文化財情報の効果的な発信（印刷物／放送等／ホームページ／動画配信など）
- 文化財解説の工夫（現在からの視点を取り入れる等わかりやすい解説）／案内板の更新整備
- 郷土資料館の魅力向上（常設展示・特別展示等の充実・アウトリーチ事業の推進など）
- 埋蔵文化財調査成果の公開促進（調査報告書・速報展など）

方針4 はぐくむ 歴史資産に関わる人びとを育成します

歴史資産の保存活用を進めるために、文化財を継承する人や文化財を理解する人々を「はぐくむ」ことが大切です。学校教育や生涯学習での学習機会の拡大、市民ボランティアの養成と参画促進をとおして、歴史資産を受けつぐ人びとを「はぐくみ」ます。

1. 歴史資産学習を推進します
2. 生涯学習との連携を促進します
3. 文化財に関わる全ての人の参画を促進します



■おもな取組み

学校教育での地域の歴史資産について学ぶ機会の提供促進

(出前講座／郷土資料館・名塩和紙学習館の活用促進)

生涯学習活動での地域の文化財や郷土資料館の活用促進／講座への講師派遣

生涯学習関連施設等との共同企画事業の実施

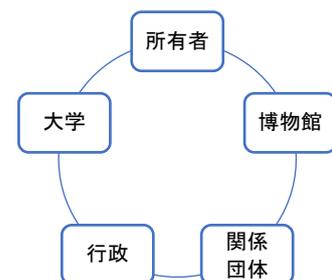
市民ボランティアの養成／文化財保存活用事業へのボランティア参画促進

歴史愛好家グループなどとの連携

方針5 たずさえる 歴史資産の保存活用に連携して取り組みます

歴史資産の保存活用を進めるためには、関係する団体等との連携が不可欠です。市内の博物館や大学、地域の歴史や文化財の保存活用に関係する団体等との連携、「たずさえる」ことを推進します。

1. 博物館・大学等との連携を拡大します
2. 歴史資産関連団体との連携を推進します
3. 市外の関連文化財群関係自治体等との連携を推進します



■おもな取組み

市内博物館等のネットワーク化促進

博物館連携事業の促進(博物館等連携講座・調査研究など)

地域の文化財保存活用に取組む団体との連携(文化財調査・保存・普及事業など)

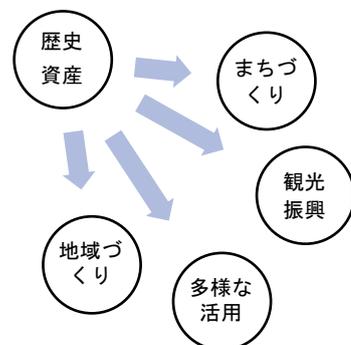
日本遺産関係団体との連携促進

西宮市と関係深い文化財が所在する自治体等との連携拡大

方針 6 ひろげる 歴史資産の保存活用を地域に展開します

歴史資産を保存し活用する取組みを地域全体で進めるために、文化財を「いかす」場面を「ひろげる」ことが大切です。まちづくりや観光振興、地域の活性化など、さまざまな場面で文化財をいかす取組みをひろげます。

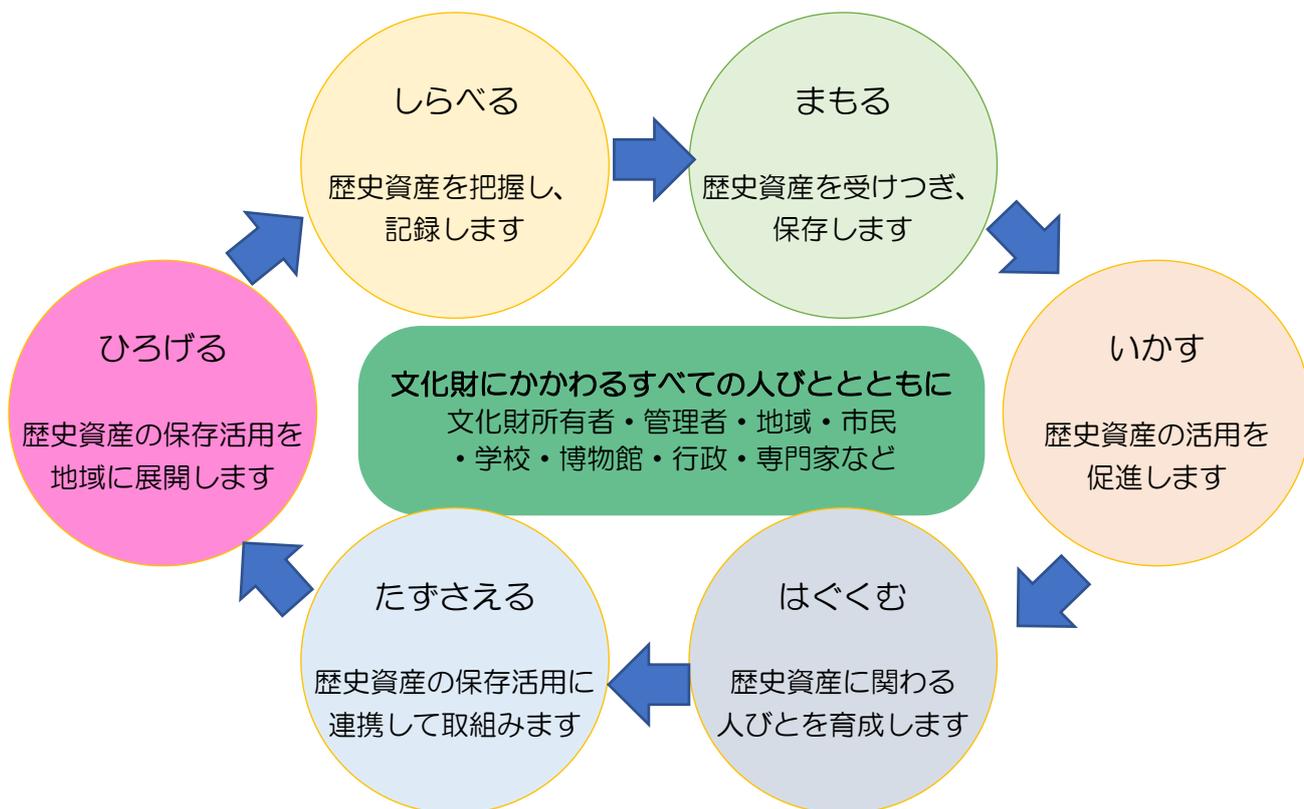
1. 所有者等が行う公開事業・各種イベント等を推進します
2. 地域資源として景観まちづくりへ寄与します
3. 地域資源として観光・産業振興へ寄与します
4. 地域の資源としての、地域づくりへ寄与します
5. だれもが文化財に親しむことができる環境づくりを進めます



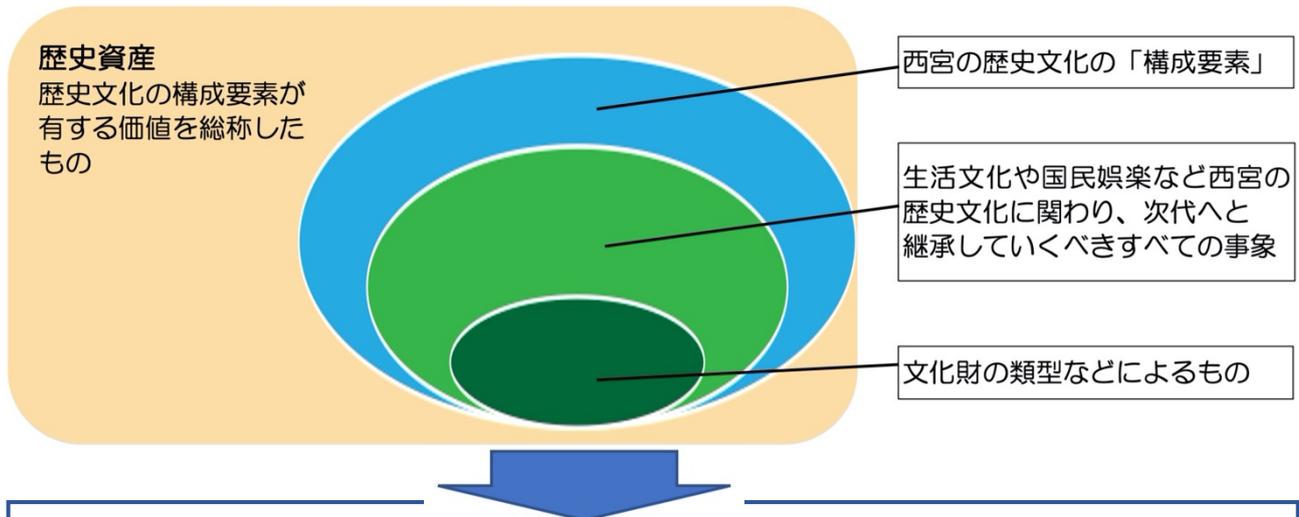
■おもな取組み

- 文化財を生かしたコンサート等の事業を支援
- 文化財建造物・史跡・天然記念物等の保存活用にかかる連携促進
- 歴史資産を生かした市内観光の促進
- 日本遺産（関連性を持った文化財）を生かした文化財活用促進
- 文化財情報に触れやすい環境づくりの推進（説明板の多言語化等への対応）
- 郷土資料館や史跡等でのバリアフリー等の環境整備促進

■西宮市の文化財を未来につなぐ 文化財保存活用の方針関係



■地域計画で対象とする文化財



■文化財の種類（指定・未指定とわず）

- ・有形文化財（建造物・美術工芸品）
- ・無形文化財
- ・民俗文化財（有形民俗・無形民俗）
- ・記念物（史跡・名勝・天然記念物）
- ・文化的景観
- ・伝統的建造物群
- ・文化財保存技術
- ・埋蔵文化財

■文化財の種類をこえるもの

- ・食文化（技、伝統、郷土料理、器・しつらえ、季節）
- ・むかし話（地域で受け継がれてきた「伝承」など）

■西宮市と深く関連する市外所在の文化財

- ・日本遺産構成文化財
- ・大坂城石垣石丁場東六甲石丁場跡 など

■関連文化財群

多様な文化財を、歴史、文化、地域の関連性を重視し、まとまりとして捉え、相互に結び付いた文化財の価値や魅力を、発信します。

- 例
- ・西宮の近代建築と文教住宅都市
 - ・西宮の酒と文化（日本遺産関連）
 - ・千年の町、にしのみや など

■文化財保存活用区域

文化財が集中しているエリアを、その周辺環境を含めて面的に捉え、保存活用を図ることで、多様な文化財に親しめるように取組みます。

- 例
- ・山口地域
 - ・甲山地域
 - ・夙川周辺地域 など